

1. 一般会計予算規模

歳入歳出予算の総額：195億1,134万4千円

※1 前年度（平成25年度）当初予算比較（174億8,313万3千円）

20億2,821万1千円の増，率で11.6%の増

※2 骨格予算でありながら，二桁の伸びとなる理由

（1）教育費で，前年度当初予算より21億1,400万2千円の増

① 既に工事を着工している「(仮称) 陽光台小学校」と「みらい平コミュニティセンター」の建設工事が本格化すること

② 平成25年度で実施設計を実施した既存の小中学校の空調設備設置工事を平成26年度に実施すること

（2）簡素な給付の実施（財源全て国庫支出金）

本年4月から消費税が8%に引き上げられることに際し，低所得者に対する適切な配慮を行うため，民生費に2億3,109万2千円を計上

2. 主な歳入

(1) 市税：69億538万8千円

人口増及び財務省発表の景気予測調査、市内企業への調査等により
前年度比 2億3,537万6千円の増、増加率で3.5%の伸び
主な増額の内訳

個人市民税 7,866万5千円の増額

法人市民税 1億4,077万1千円の増額

(2) 地方消費税交付金：4億9,000万円

消費税8%へ増税されることによる増額

前年度比 1億590万4千円の増額

(3) 地方交付税：25億円

国の平成26年度地方財政計画などから試算

前年度比 5,000万円の増額

(3) その他の歳入

・国庫支出金は29億9,865万4千円

前年度比 4億3,745万2千円の増額

・市債は30億3,510万円

前年度比 3億9,820万円の増額

3. 主な歳出

新基本計画に基づく事業の実施（重点施策）

① 行きたくなる、住みたくなるまちをつくろう

人や企業を引きつける都市としての魅力、優位性を確立していくための施策

- ・雇用促進奨励金 300万円 継続

市内に新たに進出又は増築し、市民を1年以上雇用した企業に対し奨励金を交付する。

平成25年度までの時限措置を、引き続き平成26年度から5年間延長する。

- ・特産品づくり推進事業 99万9千円 継続

平成25年度に22品目を「みらいプレミアム」として認証した。

市のブランド化を推進するため、市の特産品や農産物の知名度アップや販路の拡大を行う。併せて、新たな特産品の公募も行う。

- ・スマートインターチェンジ設置事業 28万5千円 継続（平成25年繰越有）

常磐自動車道へのスマートインターチェンジ設置について、引き続き関係機関と協議を進める。

- ・人・農地プラン事業 1,995万円 継続

平成24年度に策定した「人・農地プラン」に基づき、将来の市の農業を支える青年就農者等に対し経営支援を行っていく。

- ・嫁に来ないか事業 64万7千円 継続

平成24年度に委嘱した結婚相談員を含めた相談体制の充実を図るとともに、出会いの場となるイベントを引き続き開催し、事業を実施する。

- ・景観まちづくり事業 28万5千円

市の地域特性を活かした良好な景観を創出し、市民、事業者、行政の協働による魅力あるまちづくりを行うため、平成26年度から「つくばみらい市景観条例及び景観計画」の運用を開始する。

② 子どもも大人も高齢者もうれしい、誰もが便利に感じるまちをつくろう

子どもから高齢者まで、誰もが暮らしやすい環境の充実を図るための施策

- ・子ども・子育て支援計画策定業務 288万8千円 新規

子ども子育て支援法に基づき、本市の幼児教育、保育及び子育て支援の指針となる計画を策定する。

- ・児童館事業 3,034万1千円 新規

平成26年4月に小絹児童館、秋にみらい平コミュニティセンター内の児童館を開館する。(みらい平コミュニティセンター内児童館の運営費については、みらい平コミュニティセンターが複合施設のため、コミュニティセンター維持管理予算に計上。)

- ・地域公共交通運行事業費 3,885万円 継続

平成26年4月1日から、新たに「デマンド乗合タクシー」を導入するとともに、既存のコミュニティバスのルート・ダイヤ等も改定し、市民の利便性の向上を図る。

- ・「歩道のない道路は道路でない」事業 2,830万円 継続

「歩道のない道路は道路でない」事業を計画的に進めるため、平成25年に策定した「歩道整備基本計画」に基づき、事業を実施する。

- ・道路ストック点検事業 1億1,876万円 新規

改正道路法の趣旨を踏まえ、市道の舗装、道路付属物等の点検補修を行い、今後の維持管理に繋げる。

- ・合併特例債道路整備事業 継続

合併特例債で進められている道路事業を引き続き推進する。

東檜戸台線整備事業 3億9,822万円

地区幹線3号線整備事業（伊奈東～小張）2億2,357万1千円

都市幹線2号線整備事業（南太田～神生）5,274万6千円

市道1-3号線整備事業（山王新田～神住新田）9,940万円

市道2-3号線整備事業（足高～神生）3,615万1千円

③ 子どもから高齢者まで希望の持てる、みんなを大切にしまちをつくろう

子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち、希望の持てるよう投資をかかさないうちにするための施策

- ・保育所運営委託事業 5億5,299万6千円 継続増

平成26年度みらい平地区に、新たに2保育所、1認定こども園の新設により、2億7,350万5千円増額となる。

- ・認定こども園等施設整備補助事業 1億7,100万3千円 新規

人口増に伴う保育施設不足に対応するため、みらい平地区の公共公益施設用地に民間の認定こども園を誘致する。

- ・小学校耐震・大規模改修事業 4億1,906万7千円

継続（耐震・大規模改修）及び新規（空調設備）

市内の小学校（三島小）の耐震化を計画的に進めるとともに、既存小学校へ空調設備を設置する。

- ・中学校耐震・大規模改修事業 2億8,382万3千円

継続（耐震・大規模改修）及び新規（空調設備）

市内の中学校（伊奈中）の耐震化を計画的に進めるとともに、既存中学校へ空調設備を設置する。

- ・教育支援センター事業 592万5千円 新規

教育支援センターを設置し、市の教育に関する相談、指導及び助言を行う。併せて、センター業務の一つとして適応支援教室を設置し、平成26年度から不登校児童生徒等の個別カウンセリング等を実施する。

- ・（仮称）陽光台小学校建設事業 22億3,031万7千円 継続

平成27年4月の開校に向け工事を進める。

- ・臨時福祉給付金給付事業及び子育て世帯臨時特定給付事業 新規

2億3,109万2千円

本年4月から消費税が8%に引き上げられることに際し、低所得や子育て世帯等に対する適切な配慮を行うため、給付金を支給する。

- ・健康づくり事業 2,149万1千円 継続及び新規（計画策定）

市民の疾病の予防及び健康への意識向上に対する普及啓発や健康相談を行う。

併せて、平成26から27年度の2か年において、生活習慣病予防及び健康の保持や増進を図るための指針として、第2次の健康増進計画、併せて、食による健康保持、豊かな人間性を育むための、第2次の食育推進計画を策定する。

④ ハード・ソフト両方が安心な持続可能なまちをつくろう

市民との信頼関係を高め、行政全体として、将来にわたって持続可能な質の高い自治体運営を目指すための施策

- ・みらい平地区コミュニティセンター整備事業

4億4,568万3千円 継続

本年秋の開館に向け、工事を進める。(児童館, 子育て支援室, 図書館分館併設)

- ・福祉避難所用備蓄品購入 53万6千円 新規

新たに福祉避難所用備蓄品を購入する。

- ・空き家対策事業 9万6千円 継続

近年問題化している「空き家」問題に対し、市民を交えた委員会を設置し、今後の市の対応の方向性を検討する。

- ・市町村再生可能エネルギー導入促進事業 800万円 継続

自然再生可能エネルギーの導入の促進を図り、停電時に避難所等での安全な誘導を行うため、太陽光発電LED街路灯を設置する。

また、停電時の災害拠点施設となるみらい平コミュニティセンターに太陽光発電と蓄電池を設置する。

(みらい平地区コミュニティセンター整備事業に事業費30,954千円を含む。)

- ・消防団ポンプ車両更新・団器具置場維持管理事業 2,700万円 継続・新規

市民の安全を確保するため、計画的に消防団ポンプ車両更新する。(第2分団)

消防団活動に伴う団器具置場の老朽化により改築する。(第3分団)

・行財政改革の推進

市民サービスの向上を第一に、「民間にできるものは民間に委ねる」ことを基本に、市の事業に対する民間活力の導入を積極的かつ計画的に推進する。